

2023年7月5日

ATENA

緊急時対策支援システム（ERSS）による原子力データ常時伝送システム
運用マニュアルの改訂（第7次改訂）について

1. はじめに

原子力防災活動の支援を行う緊急時対策支援システム（以下「ERSS」という。）の管理の充実と不具合発生時の対応を明確にするため、電気事業連合会として「緊急時対策支援システム（ERSS）による原子力データ常時伝送システム 運用マニュアル」（以下「本マニュアル」という。）を策定し、ERSSに関する共通的な運用方法を定めている。

このたび、ERSSの運用に関する原子力規制庁からの周知文書の反映や運用実態（各社が原子力規制庁との調整した結果の反映を含む。）を踏まえ、本マニュアルの改訂を行う。

2. 主な改訂内容

(1) 原子力規制庁から周知された事項の反映

- ・ [] の反映
- ・ [] の反映

(2) 不具合等発生による伝送データ停止時の対応

- ・ 停止中のユニットの測定機器側の停止においても、重要なパラメータの場合は、対応が必要との認識のため、対象範囲を見直し
- ・ 不具合発生時の代替措置について、原子力規制庁の評価結果に関わらず代替措置の調整を行うよう見直し

(3) 放水口モニタの点検当日の廃液放出

- ・ 放水口モニタについて、事前連絡時の停止期間（時間）終了前に廃液の放出を行う場合に、原子力規制庁に連絡を行ってから放出を行うよう運用を追加

(4) 対応箇所の明確化

- ・ ERSS 伝送停止時等における原子力規制庁の連絡先を明記

3. 今後の進め方

- ・ 本マニュアルの改訂について、原子力規制庁に説明し、内容の確認を得る。
- ・ 本マニュアルの改訂内容について確認を得た後、各社の社内マニュアルへの反映のためのリードタイム（2ヵ月程度）を設けたうえで、本マニュアルを施行し、運用を開始する。

4. 添付資料

緊急時対策支援システム（ERSS）による原子力データ常時伝送システム 運用マニュアル
改訂前後比較表

以上

[] 枠囲みの内容は防災に係る情報システムの機微情報を含むため公開はできない。

（赤字+下線部が改訂箇所）

現行（2019年7月 第6次改訂）	修正後（第7次改訂案）	見直し理由																																																															
<p style="text-align: center;">緊急時対策支援システム（ERSS）による 原子力データ常時伝送システム 運用マニュアル</p> <p style="text-align: center;"><u>2019年7月</u> 電気事業連合会</p> <p style="text-align: center;">改訂来歴</p> <table border="1" data-bbox="127 968 1267 1698"> <thead> <tr> <th>改訂</th> <th>年月</th> <th>改訂概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>—</td><td>2013.3</td><td>・制定</td></tr> <tr><td>1</td><td>2013.6</td><td>・プラント停止期間中、計画的保守の事前連絡が必要な範囲を適正化 ・記載の適正化</td></tr> <tr><td>2</td><td>2014.3</td><td>・原子力規制庁に原子力安全基盤機構が統合されたことに伴う適正化 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映</td></tr> <tr><td>3</td><td>2015.1</td><td>・原子力規制庁の組織改正内容を反映</td></tr> <tr><td>4</td><td>2016.1</td><td>・プラント停止期間中の計画的保守により事前連絡を必要とする停止範囲の見直し ・記載の適正化</td></tr> <tr><td>5</td><td>2016.4</td><td>・第2データセンター設置に伴う一部運用変更</td></tr> <tr><td>6</td><td>2019.7</td><td>・ERSSへの伝送全停止時の対応追記 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>以下余白</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	改訂	年月	改訂概要	—	2013.3	・制定	1	2013.6	・プラント停止期間中、計画的保守の事前連絡が必要な範囲を適正化 ・記載の適正化	2	2014.3	・原子力規制庁に原子力安全基盤機構が統合されたことに伴う適正化 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映	3	2015.1	・原子力規制庁の組織改正内容を反映	4	2016.1	・プラント停止期間中の計画的保守により事前連絡を必要とする停止範囲の見直し ・記載の適正化	5	2016.4	・第2データセンター設置に伴う一部運用変更	6	2019.7	・ERSSへの伝送全停止時の対応追記 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映			以下余白							<p style="text-align: center;">緊急時対策支援システム（ERSS）による 原子力データ常時伝送システム 運用マニュアル</p> <p style="text-align: center;"><u>2023年xx月</u> 電気事業連合会</p> <p style="text-align: center;">改訂来歴</p> <table border="1" data-bbox="1344 968 2484 1877"> <thead> <tr> <th>改訂</th> <th>年月</th> <th>改訂概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>—</td><td>2013.3</td><td>・制定</td></tr> <tr><td>1</td><td>2013.6</td><td>・プラント停止期間中、計画的保守の事前連絡が必要な範囲を適正化 ・記載の適正化</td></tr> <tr><td>2</td><td>2014.3</td><td>・原子力規制庁に原子力安全基盤機構が統合されたことに伴う適正化 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映</td></tr> <tr><td>3</td><td>2015.1</td><td>・原子力規制庁の組織改正内容を反映</td></tr> <tr><td>4</td><td>2016.1</td><td>・プラント停止期間中の計画的保守により事前連絡を必要とする停止範囲の見直し ・記載の適正化</td></tr> <tr><td>5</td><td>2016.4</td><td>・第2データセンター設置に伴う一部運用変更</td></tr> <tr><td>6</td><td>2019.7</td><td>・ERSSへの伝送全停止時の対応追記 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映</td></tr> <tr><td><u>7</u></td><td><u>2023.xx</u></td><td> ・<u>原子力規制庁周知文書</u> [] [] <u>及び</u> [] [] <u>を反映</u> ・<u>不具合等発生による伝送データ停止時の対応の追記</u> ・<u>放水口モニタの点検当日の廃液放出に係る指導事項を反映</u> ・<u>対応箇所の明確化、記載の適正化</u> </td></tr> <tr><td></td><td></td><td>以下余白</td></tr> </tbody> </table>	改訂	年月	改訂概要	—	2013.3	・制定	1	2013.6	・プラント停止期間中、計画的保守の事前連絡が必要な範囲を適正化 ・記載の適正化	2	2014.3	・原子力規制庁に原子力安全基盤機構が統合されたことに伴う適正化 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映	3	2015.1	・原子力規制庁の組織改正内容を反映	4	2016.1	・プラント停止期間中の計画的保守により事前連絡を必要とする停止範囲の見直し ・記載の適正化	5	2016.4	・第2データセンター設置に伴う一部運用変更	6	2019.7	・ERSSへの伝送全停止時の対応追記 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映	<u>7</u>	<u>2023.xx</u>	・ <u>原子力規制庁周知文書</u> [] [] <u>及び</u> [] [] <u>を反映</u> ・ <u>不具合等発生による伝送データ停止時の対応の追記</u> ・ <u>放水口モニタの点検当日の廃液放出に係る指導事項を反映</u> ・ <u>対応箇所の明確化、記載の適正化</u>			以下余白	<p>・改訂日の修正</p> <p>・改訂概要の追記</p>
改訂	年月	改訂概要																																																															
—	2013.3	・制定																																																															
1	2013.6	・プラント停止期間中、計画的保守の事前連絡が必要な範囲を適正化 ・記載の適正化																																																															
2	2014.3	・原子力規制庁に原子力安全基盤機構が統合されたことに伴う適正化 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映																																																															
3	2015.1	・原子力規制庁の組織改正内容を反映																																																															
4	2016.1	・プラント停止期間中の計画的保守により事前連絡を必要とする停止範囲の見直し ・記載の適正化																																																															
5	2016.4	・第2データセンター設置に伴う一部運用変更																																																															
6	2019.7	・ERSSへの伝送全停止時の対応追記 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映																																																															
		以下余白																																																															
改訂	年月	改訂概要																																																															
—	2013.3	・制定																																																															
1	2013.6	・プラント停止期間中、計画的保守の事前連絡が必要な範囲を適正化 ・記載の適正化																																																															
2	2014.3	・原子力規制庁に原子力安全基盤機構が統合されたことに伴う適正化 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映																																																															
3	2015.1	・原子力規制庁の組織改正内容を反映																																																															
4	2016.1	・プラント停止期間中の計画的保守により事前連絡を必要とする停止範囲の見直し ・記載の適正化																																																															
5	2016.4	・第2データセンター設置に伴う一部運用変更																																																															
6	2019.7	・ERSSへの伝送全停止時の対応追記 ・原子力規制庁側の運用マニュアル改訂内容を反映																																																															
<u>7</u>	<u>2023.xx</u>	・ <u>原子力規制庁周知文書</u> [] [] <u>及び</u> [] [] <u>を反映</u> ・ <u>不具合等発生による伝送データ停止時の対応の追記</u> ・ <u>放水口モニタの点検当日の廃液放出に係る指導事項を反映</u> ・ <u>対応箇所の明確化、記載の適正化</u>																																																															
		以下余白																																																															

枠囲みの内容は防災に係る情報システムの機微情報を含むため公開はできない。

現行（2019年7月 第6次改訂）	修正後（第7次改訂案）	見直し理由
<p>1. 目的</p> <p>本マニュアルは、原子力緊急事態発生時等に原子力施設の状態把握に資する情報をリアルタイムに提供し、原子力防災活動の支援を行う緊急時対策支援システム（以下「E R S S」という。）の管理の充実と不具合発生時の対応を明確にするため、E R S Sによる伝送において対象とする原子力施設及び情報の範囲、維持管理に関する原子力規制庁（以下「規制庁」という。）と原子力事業者の責任分掌等の基本的事項を示すとともに、原子力事業者から規制庁のE R S Sに伝送されるプラントパラメータ情報が障害等により停止した場合の対応及び保守、点検等による計画的な伝送データ停止を行う際の連絡方法等について定めることを目的とする。本マニュアルに記載されていない対応が必要な場合には、マニュアルの趣旨に沿った最も合理的な行動をとるものとする。</p> <p>なお、当該伝送データ停止が新規制基準に適合している発電用原子炉施設において保安規定で定める運転上の制限の逸脱に該当する場合は、運転上の制限の逸脱に関する所定の手続きに基づいて対応する。</p> <p>2. 用語の定義</p> <p>本マニュアルにおける用語の定義は、次のとおりとする。</p> <p>(1) E R S S常時伝送システム</p> <p>原子力施設から常時伝送されるプラントパラメータ情報を受け、それを官邸、緊急時対応センター（E R C）、緊急事態応急対策等拠点施設（O F C）等に設置された端末に表示するE R S Sの機能を実現するために、規制庁又は原子力事業者が整備運用する設備（サーバ及びスイッチ等機器、ソフトウェア並びに通信回線を含む。）をいう。</p> <p>(2) 原災法</p> <p>原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）をいう。</p> <p>(3) 原子炉等規制法</p> <p>核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和32年法律第166号）をいう。</p> <p>(4) 原子炉等規制法施行令</p> <p>核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令（昭和32年政令第324号）をいう。</p> <p>(5) 原子力事業者防災業務計画</p> <p>原災法第7条第1項の規定に基づき、原子力事業者が原子力事業所ごと^とに、当該原子力事業所における原子力災害予防対策、緊急事態応急対策及び原子力災害事後対策等に必要な業務に関し定めたものをいう。</p>	<p>1. 目的</p> <p>本マニュアルは、原子力緊急事態発生時等に原子力施設の状態把握に資する情報をリアルタイムに提供し、原子力防災活動の支援を行う緊急時対策支援システム（以下「E R S S」という。）の管理の充実と不具合発生時の対応を明確にするため、E R S Sによる伝送において対象とする原子力施設及び情報の範囲、維持管理に関する原子力規制庁（以下「規制庁」という。）と原子力事業者の責任文章等の基本的事項を示すとともに、原子力事業者から規制庁のE R S Sに伝送されるプラントパラメータ情報が障害等により停止した場合の対応及び保守、点検等による計画的な伝送データ停止を行う際の連絡方法等について定めることを目的とする。本マニュアルに記載されていない対応が必要な場合には、マニュアルの趣旨に沿った最も合理的な行動をとるものとする。</p> <p>なお、当該伝送データ停止が新規制基準に適合している発電用原子炉施設において保安規定で定める運転上の制限の逸脱に該当する場合は、運転上の制限の逸脱に関する所定の手続きに基づいて対応する<u>ものとし、本マニュアルの対象外とする。</u></p> <p>2. 用語の定義</p> <p>本マニュアルにおける用語の定義は、次のとおりとする。</p> <p>(1) E R S S常時伝送システム</p> <p>原子力施設から常時伝送されるプラントパラメータ情報を受け、それを官邸、緊急時対応センター（E R C）、緊急事態応急対策等拠点施設（O F C）等に設置された端末に表示するE R S Sの機能を実現するために、規制庁又は原子力事業者が整備運用する設備（サーバ及びスイッチ等機器、ソフトウェア並びに通信回線を含む。）をいう。</p> <p>(2) 原災法</p> <p>原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）をいう。</p> <p>(3) 原子炉等規制法</p> <p>核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和32年法律第166号）をいう。</p> <p>(4) 原子炉等規制法施行令</p> <p>核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令（昭和32年政令第324号）をいう。</p> <p>(5) 原子力事業者防災業務計画</p> <p>原災法第7条第1項の規定に基づき、原子力事業者が原子力事業所<u>毎</u>に、当該原子力事業所における原子力災害予防対策、緊急時応急対策及び原子力災害事後対策等に必要な業務に関し定めたものをいう。</p>	<p>・記載の適正化（規制庁マニュアルとの整合）</p> <p>・記載の適正化</p>

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
<p>3. プラント状態の定義</p> <p>本マニュアルにおけるプラント状態の定義は以下のとおりとする。</p> <p>(1) プラント運転中</p> <p>BWR：原子炉の状態が「運転」、「起動」、「高温停止」の状態をいう。 PWR：運転モードが4以上の場合をいう。</p> <p>(2) プラント停止中</p> <p>BWR：原子炉の状態が「冷温停止」、「燃料交換」の状態をいう。 PWR：運転モードが5及び6並びにモード外の場合をいう。 共 通：運転終了及び廃止措置中のプラント</p> <p>4. 対象範囲</p> <p>(1) 対象とする原子力施設</p> <p>本マニュアルにおいて対象とする施設は、原子力災害対策特別措置法に基づき原子力事業者が作成すべき原子力事業者防災業務計画等に関する命令（平成24年文部科学省・経済産業省令第4号。以下「防災業務計画等命令」という。）第2条第2項第4号に規定する、原子力事業所内情報等伝送設備の整備及び運用に関することについて原子力事業者防災業務計画に定める原子力施設とする。</p>	<p>3. プラント状態の定義</p> <p>本マニュアルにおけるプラント状態の定義は以下のとおり。</p> <p>(1) プラント運転中</p> <p>BWR：原子炉の状態が「運転」、「起動」、「高温停止」の状態をいう。 PWR：運転モードが4以上の場合をいう。</p> <p>(2) プラント停止中</p> <p>BWR：原子炉の状態が「冷温停止」、「燃料交換」の状態をいう。 PWR：運転モードが5及び6並びにモード外の場合をいう。 共 通：運転終了及び廃止措置中のプラント</p> <p>4. 対象範囲</p> <p>(1) 対象とする原子力施設</p> <p>本マニュアルにおいて対象とする施設は、原子力災害対策特別措置法に基づき原子力事業者が作成すべき原子力事業者防災業務計画等に関する命令（平成24年文部科学省・経済産業省令第4号。以下「防災業務計画等命令」という。）第2条第2項第4号に規定する、原子力事業所内情報等伝送設備の整備及び運用に関することについて原子力事業者防災業務計画に定める原子力施設とする。</p>	
<p>(2) E R S S に伝送すべきプラントパラメータ情報等</p> <p>本マニュアルにおいて対象とする情報の範囲は、原子力事業者がE R S S 常時伝送システムに伝送する情報として、原子力施設の状態を示す情報（プラントパラメータ）、放射線測定情報（モニタリングポスト、放水口モニタ等の指示値）、気象観測情報（風向、風速等）等（以下「プラントパラメータ情報等」という。）とする。具体的には、防災業務計画等命令第2条第2項第4号の規定に基づき、原子力事業者が原子力事業者防災業務計画に定める。（添付資料-1参照）</p> <p>なお、原子力事業者は、E R S S 常時伝送システムが扱うデータと記者発表文（主に中央制御室の記録計読み取り値）、地方公共団体ホームページ（同じデータであるが、収集間隔が異なる）等により公表されているデータと異なる場合があることを予め認識し、伝送データに関する情報を公表する必要が生じた場合は、公表前にデータの取扱いについて関係機関と調整を行う。</p>	<p>(2) E R S S に伝送すべきプラントパラメータ情報等</p> <p>本マニュアルにおいて対象とする情報の範囲は、原子力事業者がE R S S 常時伝送システムに伝送する情報として、原子力施設の状態を示す情報（プラントパラメータ）、放射線測定情報（モニタリングポスト、放水口モニタ等の指示値）、気象観測情報（風向、風速等）等（以下「プラントパラメータ情報等」という。）とする。具体的には、防災業務計画等命令第2条第2項第4号の規定に基づき、原子力事業者が原子力防災業務計画に定める。（添付資料-1参照）</p> <p>なお、原子力事業者は、E R S S 常時伝送システムが扱うデータと記者発表文（主に中央制御室の記録計読み取り値）、地方公共団体ホームページ（同じデータではあるが、収集間隔が異なる）等により公表されているデータと異なる場合があることを予め認識し、伝送データに関する情報を公表する必要が生じた場合は、公表前にデータの取扱いについて関係機関と調整を行う。</p>	

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
<p>5. 責任分掌、維持管理及び情報セキュリティ管理並びに情報公開請求時の対応</p> <p>(1) 責任分掌及び維持管理</p> <p>E R S S 常時伝送システム及び測定機器等の構成概要図を添付資料-2「システム構成概要図の例とE R S S 常時伝送システムの停止・測定機器側の故障等定義」に示す。添付資料-2に示すとおり、原子力事業者の責任分掌点は、発電所や本店等に設置してある各社施設と統合原子力防災ネットワーク網との間のネットワーク中継機器 (L 3 S W) 下流側接続点までとする。</p> <p>原子力事業者は、管理範囲にあるシステム機器、プラント計算機等のハードウェア及びソフトウェアについて維持及び管理のための保守、点検等を実施する。</p>	<p>5. 責任分掌、維持管理及び情報セキュリティ管理並びに情報公開請求時の対応</p> <p>(1) 責任分掌及び維持管理</p> <p>E R S S 常時伝送システム及び測定機器等の構成概要図を添付資料-2「システム構成概要図の例とE R S S 常時伝送システムの停止・測定機器側の故障等定義」に示す。添付資料-2に示すとおり、原子力事業者の責任分掌点は、発電所や本店等に設置してある各社施設と統合原子力防災ネットワーク網との間のネットワーク中継機器 (L 3 S W) 下流側接続点までとする。</p> <p>原子力事業者は、管理範囲にあるシステム機器、プラント計算機等のハードウェア及びソフトウェアについて維持及び管理のための保守、点検等を実施する。</p>	
<p>(2) 情報セキュリティ管理</p> <p>ネットワークの情報セキュリティを保つため、各社のセキュリティポリシー等に基づき、最善の努力を行う。また、I Pアドレス等、E R S S 常時伝送システムを運用するに当たり、扱う機微な情報は適切に管理する。</p> <p>なお、ネットワークの情報セキュリティ上の問題等以下のような課題が予見される又は顕在化した場合は、電気事業連合会防災検討委員会にて対応するよう依頼する。</p> <p>a. セキュリティ上の問題の解決</p> <p>b. 運営上の不具合等の除去</p> <p>c. データ伝送仕様変更に係る事項</p> <p>d. 各社責任範囲内で行うセキュリティ対策について、ネットワーク上で相手側システムに影響を与える可能性のある場合等</p>	<p>(2) 情報セキュリティ管理</p> <p>ネットワークの情報セキュリティを保つため、各社のセキュリティポリシー等に基づき、最善の努力を行う。また、I Pアドレス等、E R S S 常時伝送システムを運用するに当たり、扱う機微な情報は適切に管理する。</p> <p>なお、ネットワークの情報セキュリティ上の問題等以下のような課題が予見される又は顕在化した場合は、電気事業連合会防災検討委員会にて対応するよう依頼する。</p> <p>a. セキュリティ上の問題の解決</p> <p>b. 運営上の不具合等の除去</p> <p>c. データ伝送仕様変更に係る事項</p> <p>d. 各社責任範囲内で行うセキュリティ対策について、ネットワーク上で相手側システムに影響を与える可能性のある場合等</p>	
<p>(3) 情報公開請求時の対応</p> <p>E R S S に伝送されたデータについて、国に情報公開請求がなされた場合は、情報公開法に基づき適切に対処する。</p>	<p>(3) 情報公開請求時の対応</p> <p>E R S S に伝送されたデータについて、国に情報公開請求がなされた場合は、情報公開法に基づき適切に対処する。</p>	
<p>6. 連絡窓口</p> <p>E R S S 常時伝送システムに係るセキュリティ管理や運用管理等について、規制庁と相互連絡のため、連絡窓口となる担当者を様式1に従い予め定め、規制庁と共有する。</p> <p>連絡窓口の担当者が変更となった場合は、速やかに変更内容を規制庁及び他の原子力事業者に周知する。</p>	<p>6. 連絡窓口</p> <p>E R S S 常時伝送システムに係るセキュリティ管理や運用管理等について、規制庁と相互連絡のため、連絡窓口となる担当者を様式1に従い予め定め、規制庁 <u>(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)</u> と共有する。</p> <p>連絡窓口の担当者が変更となった場合は、速やかに変更内容を規制庁 <u>(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)</u> 及び他の原子力事業者に周知する。</p>	<p>・対応箇所の明確化</p>

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
<p>7. E R S S 常時伝送システムの仕様変更等に係る対応</p> <p>(1) 計画段階</p> <p>原子力事業者が、プラントパラメータ情報等の追加及び変更又はE R S S 常時伝送システムの<u>ハードウェア</u>及びソフトウェアの仕様変更等を行う場合は、計画段階で規制庁の緊急事案対策室へ以下を説明する。また、データポイントライブラリの変更管理は、原子力事業者にて確実に実施し、変更した場合は規制庁の緊急事案対策室及び情報システム室へ送付する。</p> <p>① 原子力事業者防災業務計画のE R S S 伝送項目の修正案 ② データポイントライブラリの修正案 ③ 伝送項目を変更するシステム整備のスケジュール</p> <p>なお、原子力事業者防災業務計画のE R S S 伝送項目の修正が不要（桁数、上限値、下限値の変更など）な場合は、上記②及び③が対象となる。</p>	<p>7. E R S S 常時伝送システムの仕様変更等に係る対応</p> <p>(1) 計画段階</p> <p>原子力事業者が、プラントパラメータ情報等の追加及び変更又はE R S S 常時伝送システムの<u>ハードウェア</u>及びソフトウェアの仕様変更等を行う場合は、<u>別添1</u> <u>に留意し</u>、計画段階で規制庁（緊急事案対策室）へ以下を説明する。また、データポイントライブラリの変更管理は、原子力事業者にて確実に実施し、変更した場合は規制庁（緊急事案対策室及び情報システム室）へ送付する。</p> <p>① 原子力事業所防災業務計画のE R S S 伝送項目の修正案 ② データポイントライブラリの修正案 ③ 伝送項目を変更するシステム整備のスケジュール</p> <p>なお、原子力事業者防災業務計画のE R S S 伝送項目の修正が不要（桁数、上限値、下限値の変更など）な場合は、上記②及び③が対象となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記載の適正化 ・規制庁文書の反映 ・記載の適正化
<p>(2) 確実な試験の実施</p> <p>E R S S 常時伝送システムの仕様変更等を行った場合は、その都度、対向試験を実施するものとする。その際、E R S S 画面のプラントパラメータについて、期待している値が出力されているか、原子力事業者側で検証する。</p> <p>特に<u>2020年度から運用が開始される次期E R S Sからは</u>、「上下限值逸脱」や「桁数不一致」でも伝送異常と判断されるため、注意すること。</p> <p>なお、伝送データに係る警報設定点の変更を行った際は、当該ユニットの<u>施設定期検査</u>終了後、規制庁にその旨を連絡する。</p>	<p>(2) 確実な試験の実施</p> <p>E R S S 常時伝送システムの仕様変更等を行った場合は、その都度、<u>別添2</u> <u>に基づき</u>、対向試験を実施するものとする。その際、E R S S 画面のプラントパラメータについて、期待している値が出力されているか、原子力事業者側で検証する。<u>また、対向試験の実施日時を事前に指定するとともに、対向試験実施後の結果について、規制庁（情報システム室）に連絡する。</u></p> <p>特に「上下限值逸脱」や「桁数不一致」でも伝送異常と判断されるため、注意すること。</p> <p>なお、伝送データに係る警報設定点の変更を行った際は、当該ユニットの<u>定期事業者検査</u>終了後、規制庁（<u>情報システム室</u>）にその旨を連絡する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・規制庁文書の反映 ・記載の適正化 ・記載の適正化 ・対応箇所の明確化
<p>8. 伝送データ停止時の対応</p> <p>(1) 伝送データ停止の考え方</p> <p>E R S S 常時伝送システムの停止及び測定機器側の故障等の考え方を以下のとおりとする。</p> <p>a. E R S S 常時伝送システムの停止</p> <p>添付資料-2の構成概要図において、実線で枠囲いされたシステム（プラント計算機、放射線総合管理装置等）若しくは実線で示されたケーブル等の設備の故障又は保守、点検等により第1データセンター及び第2データセンターへの伝送が停止し、プラントパラメータ情報等が継続的にE R S S に伝送できない場合（伝送1回程度のデータが欠損した場合は除く）をいう。</p>	<p>8. 伝送データの停止時の対応</p> <p>(1) 伝送データ停止の考え方</p> <p>E R S S 常時伝送システムの停止及び測定機器側の故障等の考え方を以下のとおりとする。</p> <p>a. E R S S 常時伝送システムの停止</p> <p>添付資料-2の構成概要図において、実線で枠囲いされたシステム（プラント計算機、放射線総合管理装置等）若しくは実線で示されたケーブル等の設備の故障又は保守、点検等により、<u>原子力事業者側のE R S S 常時伝送システムから</u>第1データセンター及び第2データセンターへの伝送が停止することで、プラントパラメータ情報等が継続的に<u>規制庁側のE R S S 常時伝送システム</u>に伝送できない場合（伝送1回程度のデータが欠測した場合は除く）をいう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記載の明確化
<p>b. 測定機器側の故障等</p> <p>添付資料-2の構成概要図において、破線で示した測定機器等の故障又は保守、点検等により第1データセンター及び第2データセンターへの伝送が停止し、プラントパラメータ情報等が継続的にE R S S に伝送できない場合をいう。</p>	<p>b. 測定機器側の故障等</p> <p>添付資料-2の構成概要図において、破線で示した測定機器等の故障又は保守、点検等により、<u>当該プラントパラメータ情報等が停止し、E R S S 常時伝送システムは健全であるが</u>第1データセンター及び第2データセンターへ<u>当該プラントパラメータ情報等</u>の伝送が停止し、<u>当該</u>プラントパラメータ情報等が継続的に<u>規制庁側のE R S S 常時伝送システム</u>に伝送できない場合をいう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記載の明確化

枠囲みの内容は防災に係る情報システムの機微情報を含むため公開はできない。

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
	<p><u>また、E R S S 常時伝送を停止していない場合において、測定機器等の保守、点検等によりプラントパラメータの正常な値が伝送されていない場合も本項に準じた対応を行うものとする。</u></p>	<p>・記載の明確化</p>
<p>(2) 計画的な保守、点検による伝送データ停止時の対応</p> <p>a. 計画的に E R S S 常時伝送システムへのデータ伝送を全部停止する場合</p> <p>(a) 基本的な考え方</p> <p>E R S S 常時伝送システムは常時伝送が原則であるため、特に運転中のプラントがある場合は、プラントパラメータ情報等の伝送データの全部が停止しないよう保守、点検計画を策定するよう努める。</p>	<p>(2) 計画的な保守、点検による伝送データ停止時の対応</p> <p>a. 計画的に E R S S 常時伝送システムへの伝送を全部停止する場合</p> <p>(a) 基本的な考え方</p> <p>E R S S 常時伝送システムは常時伝送が原則であるため、特に運転中のプラントがある場合は、プラントパラメータ情報等の伝送データの全部が停止しないよう保守、点検計画を策定するよう努める。</p>	
<p>(b) 計画停止の事前連絡</p> <p>やむを得ず、計画的な保守、点検により E R S S 常時伝送システムへのプラントパラメータ情報等伝送データの全部が停止する場合は、<u>計画段階から</u>様式2による施設の稼働状況・伝送データ停止期間及び伝送データ停止の内容、理由、並びに様式3による伝送データ停止期間の予定について事前連絡を実施する。</p> <p>また、保守、点検作業の計画を変更する必要がある場合は、原則変更する計画の実施前までに同様の事前連絡を行う。</p> <p>なお、停止期間を極力短縮することを基本とする。</p>	<p>(b) 計画停止の事前連絡</p> <p>やむを得ず、計画的な保守、点検により E R S S 常時伝送システムへのプラントパラメータ情報等伝送データの全部が停止する場合は、<u>保守点検を行う前月の末日を含め原則3営業日前までの平日勤務時間帯(9:30~18:15)</u>に、様式2による施設の稼働状況・伝送データ停止期間及び伝送データ停止の内容、理由、並びに様式3による伝送データ停止期間の予定について、<u>規制庁(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)及び規制事務所へ</u>事前連絡を実施する。</p> <p>また、保守、点検作業の計画を変更する必要がある場合は、原則変更する計画の実施前までに同様の事前連絡を行う。</p> <p>なお、停止期間を極力短縮することを基本とする。</p>	<p>・事前連絡を行う期間の明確化(一部停止との記載の整合)</p> <p>・対応箇所の明確化</p>
<p>(c) 代替措置</p> <p>計画的な保守、点検により E R S S 常時伝送システムへのプラントパラメータ情報等伝送データの全部が停止する場合は、プラントの状況把握に必要、かつ、現実的に対応可能な範囲及び頻度にて、E R S S 以外の代替措置でプラントパラメータを送付する。</p> <p>代替措置は、基本的には添付資料-4で示す内容に従い、規制庁と必要なデータ・連絡時期等を調整し、規制庁及び規制事務所に電子メール等により連絡する。また、必要に応じ、中央制御室での代替監視や代替措置を実施するための体制整備などの措置を講じる。</p> <p>代替措置は、プラントの運転状態による影響を踏まえ、共通的な対応を除き「プラント運転中」と「プラント停止中」で分けて実施する。</p> <p>具体的な対応については、以下のとおりとする。</p> <p>① 「プラント運転中」の基本事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 中央制御室にて監視可能なプラントパラメータは、原則、1時間に1回の頻度で記録採取及びデータ送付を実施する。 ➤ 現場での記録採取が必要なプラントパラメータは、計画段階の事前調整時に記録採取頻度及びデータ送付頻度について、規制庁と合意する。 ➤ 作業等により1時間に1回の記録採取ができない場合は、事前調整のうえ記録採取頻度及びデータ送付頻度について規制庁と合意する。 ➤ 代替措置期間中において、プラントの異常発生など事前調整と状況が変わり、規制庁から記録採取及びデータ送付頻度に関する要請があった場合は、要請に応じ適切に対応する。 	<p>(c) 代替措置</p> <p>計画的な保守、点検により E R S S 常時伝送システムへのプラントパラメータ情報等伝送データの全部が停止する場合は、プラントの状況把握に必要、かつ、現実的に対応可能な範囲及び頻度にて、E R S S 以外の代替措置でプラントパラメータを送付する。</p> <p>代替措置は、基本的には添付資料-4で示す内容に従い、規制庁(<u>緊急事案対策室</u>)と必要なデータ・連絡時期等を調整し、<u>代替措置は、規制庁(添付資料-4に示す代替措置データ送付先)</u>及び規制事務所に電子メール等により連絡する。また、必要に応じ、中央制御室での代替監視や代替措置を実施するための体制整備などの措置を講じる。</p> <p>代替措置は、プラントの運転状態による影響を踏まえ、共通的な対応を除き「プラント運転中」と「プラント停止中」で分けて実施する。</p> <p>具体的な対応については、以下のとおりとする。</p> <p>① 「プラント運転中」の基本事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 中央制御室にて監視可能なプラントパラメータは、<u>休祝日も含め</u>、原則、1時間に1回の頻度で記録採取及びデータ送付を実施する。 (b) 現場での記録採取が必要なプラントパラメータは、計画段階の事前調整時に記録採取頻度及びデータ送付頻度について、規制庁(<u>緊急事案対策室</u>)と合意する。 (c) 作業等により1時間に1回の記録採取ができない場合は、事前調整のうえ記録採取頻度及びデータ送付頻度について規制庁(<u>緊急事案対策室</u>)と合意する。 (d) 代替措置期間中において、プラントの異常発生など事前調整と状況が変わり、規制庁から記録採取及びデータ送付頻度に関する要請があった場合は、要請に応じ適切に対応する。 	<p>・対応箇所の明確化</p> <p>・記載の明確化</p> <p>・記載の明確化</p> <p>・対応箇所の明確化</p> <p>・対応箇所の明確化</p>

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
<p>➤ 点検に伴い、データ伝送を停止した後、速やかに規制庁(添付資料-4に示す代替措置データ送付先)へ停止時間及び代替措置を開始する旨を連絡する。</p> <p>➤ 点検終了は、作業内容にも依るが通信対向試験等を実施し、<u>事業者と規制庁双方で</u>信号が正しく伝送できていることを確認した時点とする。</p> <p>また、点検終了後、速やかに規制庁(緊急時ネットワーク監視センター及び代替措置データ送付先)へ連絡する。</p> <p>➤ 隔日作業の場合においては、作業期間中の点検終了時にフラグの戻し忘れがないよう注意するとともに、当日の作業終了を規制庁(添付資料-4に示す代替措置データ送付先)へ連絡する。</p> <p>なお、当日の作業終了後E R S Sへの伝送が正しくできていることについて、原子力事業者が確認する。</p> <p>なお、伝送データの停止期間が1時間未満の場合は、代替措置は不要とする。</p>	<p>(e) 点検に伴い、データ伝送を停止した後、速やかに規制庁(添付資料-4に示す代替措置データ送付先)へ停止時間及び代替措置を開始する旨を連絡する。</p> <p>(f) 点検終了は、作業内容にも依るが通信対向試験等を実施し、信号が正しく伝送できていることを確認した時点とする。<u>なお、通信対向試験を実施する場合は、別添2に基づき実施する。</u></p> <p>また、点検終了後、速やかに規制庁(緊急時ネットワーク監視センター及び添付資料-4に示す代替措置データ送付先)へ連絡する。</p> <p>(g) 隔日作業の場合においては、作業期間中の点検終了時にフラグの戻し忘れがないよう注意するとともに、当日の作業終了を規制庁(<u>緊急時ネットワーク監視センター及び添付資料-4に示す代替措置データ送付先</u>)へ連絡する。</p> <p>なお、当日の作業終了後E R S Sへの伝送が正しくできていることについて、原子力事業者が確認する。</p> <p>(h) <u>放水口モニタの点検について、事前連絡時の停止期間(時間)終了前に廃液の放出を行う場合は、点検が終了したことを規制庁(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)に連絡を行った後に放出する。</u></p> <p>なお、伝送データの停止期間が1時間未満の場合は、代替措置は不要とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・規制庁文書の反映 ・記載の適正化 ・対応箇所の明確化 ・規制庁指導事項の反映
<p>① 「プラント停止中」の基本事項</p> <p>➤ プラントパラメータは、<u>休祭日</u>も含め、1日に1回の頻度で記録採取及びデータ送付を実施する。</p> <p>なお、伝送データの停止期間が24時間未満の場合は、代替措置は不要とする。</p> <p>上記①及び②の代替措置対応イメージを添付資料-5に示す。</p>	<p>② 「プラント停止中」の基本事項</p> <p>(a) プラントパラメータは、<u>休祝日</u>も含め、1日に1回の頻度で記録採取及びデータ送付を実施する。</p> <p>(b) <u>未適合炉の燃料プールに関する記録採取及びデータ送付は、ERSS停止時に伝送しているパラメータを対象とする。</u></p> <p>(c) <u>その他の事項は、「1時間に1回」を「1日に1回」に読み替えた上で、①「プラント運転中」の基本事項と同様の対応を行う。</u></p> <p>なお、伝送データの停止期間が24時間未満の場合は、代替措置は不要とする。</p> <p>上記①及び②の代替措置対応イメージを添付資料-5に示す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記載の適正化 ・記載の適正化 ・記載の充実
<p>b. 計画的にE R S S常時伝送システムへのデータ伝送を一部停止する場合</p> <p>原子力事業者は、翌月にプラントパラメータ情報の一部が常時伝送できなくなることが予定されている場合は、保守点検を行う前月の末日を含め原則3営業日前までの平日勤務時間帯に、様式2による施設の稼働状況・伝送データ停止期間及び伝送データ停止の内容、理由、並びに様式3 <u>による</u>伝送データ停止期間の<u>予定</u> <u>について</u>の事前連絡を実施する。</p> <p>なお、第1データセンター又は第2データセンターの一方が停止となる場合にも、連絡を行うものとする。</p>	<p>b. 計画的にE R S S常時伝送システムへのデータ伝送を一部停止する場合</p> <p>原子力事業者は、翌月にプラントパラメータ情報の一部が常時伝送できなくなることが予定されている場合は、保守点検を行う前月の末日を含め原則3営業日前までの平日勤務時間帯(9:30~18:15)に、様式2による施設の稼働状況・伝送データ停止期間及び伝送データ停止の内容、理由、並びに様式3 <u>及びプラント運転中の場合は様式3に記載のないパラメータについて、規制庁(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)及び規制事務所へ</u>伝送データ停止期間予定の事前連絡を実施する。<u>保守、点検作業の計画を変更する必要がある場合は、原則変更する計画の実施前までに同様の事前連絡を行う。</u></p> <p>なお、第1データセンター又は第2データセンターの一方が停止となる場合にも、連絡を行うものとする。</p>	<p>(規制庁への確認事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の面談コメントを踏まえ運用している「運転中プラントにおける様式3に記載のないパラメータの連絡」について、改めて必要性をご教示願います。 ・記載の適正化 ・対応箇所の明確化 ・記載場所の変更

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
<p>ただし、様式4のサンプルに記載するパラメータは重要なパラメータであるため、一部停止において当該パラメータ(敷地境界モニタリングポスト、主排気筒、非常用排気筒、放水口モニタ、使用済燃料貯蔵槽エリアモニタに係る信号の月例点検や機能検査時の一部停止を除く)の伝送を第1データセンター及び第2データセンター共に停止する場合は、「a. 計画的にE R S S常時伝送システムへのデータ伝送を全部停止する場合」に準じた対応を行うものとする。</p> <p><u>また、保守、点検作業の計画を変更する必要がある場合は、原則変更する計画の実施前までに同様の事前連絡を行う。</u></p>	<p>ただし、様式4のサンプルに記載するパラメータは重要なパラメータであるため、一部停止において当該パラメータ(敷地境界モニタリングポスト、主排気筒、非常用排気筒、放水口モニタ、使用済燃料貯蔵槽エリアモニタに係る信号の月例点検や機能検査時の一部停止を除く)の伝送を第1データセンター及び第2データセンター共に停止する場合は、「a. 計画的にE R S S常時伝送システムへのデータ伝送を全部停止する場合」に準じた対応を行うものとする。</p> <p><u>放水口モニタの月例点検等の場合においても、事前連絡時の停止期間(時間)終了前に廃液の放出を行う場合は、点検が終了したことを規制庁(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)に連絡を行った後に放出する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記載場所の変更 ・規制庁指導事項の反映
<p>c. 規制庁による計画的保守の場合の連絡</p> <p>規制庁が管理する伝送ネットワーク機器等の保守点検等により、E R S S常時伝送システムの停止となる場合は、その停止計画が規制庁のホームページに掲載され、併せて第1データセンター又は第2データセンターの一方が停止となる場合でも各社の伝送システム等に影響がある場合には、予め停止前に、規制庁から各社連絡担当者へ事前連絡が行われる。</p>	<p>c. 規制庁による計画的保守の場合の連絡</p> <p>規制庁が管理する伝送ネットワーク機器等の保守点検等により、E R S S常時伝送システムの停止となる場合は、その停止計画が規制庁のホームページに掲載され、併せて第1データセンター又は第2データセンターの一方が停止となる場合でも各社の伝送システム等に影響がある場合には、予め停止前に、規制庁から各社連絡担当者へ事前連絡が行われる。</p>	<p>(規制庁への確認事項)</p> <p>・事前連絡の時期を記載できないでしょうか。(事業者側の記載を参考に「保守点検を行う前月の末日を含め原則3営業日前までの平日勤務時間帯に、」など。)</p>
<p>d. 欠測データ</p> <p>プラントパラメータ情報等の全部又は一部が常時伝送できない場合、当該期間のデータは「欠測」扱いとする。</p>	<p>d. 欠測データ</p> <p>プラントパラメータ情報等の全部又は一部が常時伝送できない場合、当該期間のデータは「欠測」扱いとする。</p>	
<p>(3) 不具合等発生による伝送データ停止時の<u>連絡</u></p> <p>不具合等発生によりプラントパラメータ情報等の全部又は一部が常時伝送できない場合においては、直ちに関係箇所へ連絡するとともに、不具合等の解消、E R S S常時伝送システムの復旧に努める。ただし、プラント停止期間中の連絡をしているユニット(号機)の測定機器側の停止の場合については、本項の対象外とする。</p>	<p>(3) 不具合等発生による伝送データ停止時の<u>対応</u></p> <p>不具合等発生によりプラントパラメータ情報等の全部又は一部が常時伝送できない場合においては、直ちに<u>添付資料-3に示す</u>関係箇所へ連絡するとともに、不具合等の解消、E R S S常時伝送システムの復旧に努める。ただし、プラント停止期間中の連絡をしているユニット(号機)の測定機器側の停止の場合については、<u>様式4のサンプルに記載するパラメータのみを本項の対象とし、その他のパラメータは対象外とする。(様式4のサンプルに記載するパラメータであっても、不具合等に関係なく計画的に伝送を停止していたパラメータは対象外)</u></p> <p><u>なお、不具合等発生に伴い、プラントパラメータ情報等の常時伝送はできているものの、伝送データが正しくない場合も、本項に準じた対応を行うものとする。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記載の適正化 ・記載の適正化 ・停止中のユニットについても、重要なパラメータの機器側の停止に関しては、一報が必要との認識のため追記する
<p>a. 原子力事業者が不具合等を確認した場合</p> <p>原子力事業者は、プラント運転中・停止中を問わず、不具合等によりプラントパラメータ情報等の全部又は一部が常時伝送できないことを確認した時点で、直ちに連絡を行う。連絡は、平日の勤務時間帯においては規制庁及び規制事務所に、休祭日及び夜間においては規制庁連絡担当者及び規制事務所に電話連絡を行った後、電子メール又はF A Xにより確実に行う。</p> <p>なお、第1データセンター又は第2データセンターの一方が停止となる場合にも、情報連絡として緊急時ネットワーク監視センターに電話又は電子メールによる連絡を行うものとする。</p>	<p>a. 原子力事業者が不具合等を確認した場合</p> <p>原子力事業者は、プラント運転中・停止中を問わず、不具合等によりプラントパラメータ情報等の全部又は一部が常時伝送できないことを確認した時点で、直ちに連絡を行う。連絡は、<u>添付資料-3に示す関係箇所</u>に電話連絡を行った後、電子メール又はF A Xにより確実に行う。</p> <p>なお、第1データセンター又は第2データセンターの一方が停止となる場合にも、情報連絡として<u>規制庁(緊急時ネットワーク監視センター)</u>に電話又は電子メールによる連絡を行うものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対応箇所の明確化 ・記載の適正化

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
<p>b. 規制庁が不具合等を確認した場合</p> <p>プラント運転中・停止中を問わず、規制庁が不具合等を確認した場合、速やかに、規制庁から各社連絡担当者へ、電子メール、電話又はFAXにより連絡が行われる。</p> <p>なお、第1データセンター又は第2データセンターの一方に不具合を確認した場合には、情報連絡として各社連絡担当者に電子メール又は電話による連絡が行われる。</p> <p>プラントパラメータ情報等の全部又は一部が常時伝送できない場合の連絡については、添付資料-3に取りまとめる。規制庁は、事業者から伝送データ停止の連絡を受け、規制庁の運用マニュアルに従い、伝送データ停止の評価(「異常」又は「軽度の障害」を判断)し、それに応じた処置を行う。(参考資料)</p>	<p>b. 規制庁が不具合等を確認した場合</p> <p>プラント運転中・停止中を問わず、規制庁が不具合等を確認した場合、速やかに、規制庁から各社連絡担当者へ、電子メール、電話又はFAXにより連絡が行われる。</p> <p>なお、第1データセンター又は第2データセンターの一方に不具合を確認した場合は、情報連絡として各社連絡担当者に電子メール又は電話による連絡が行われる。</p> <p>プラントパラメータ情報等の全部又は一部が常時伝送できない場合の連絡については、添付資料-3に取りまとめる。規制庁は、事業者から伝送データ停止の連絡を受け、規制庁の運用マニュアルに従い、伝送データ停止の評価(「異常」又は「軽度の障害」を判断)し、それに応じた処置を行う。(参考資料)</p>	
<p>c. 欠測データ</p> <p>プラントパラメータ情報等の全部又は一部が常時伝送できない場合、当該期間のデータは「欠測」扱いとする。</p>	<p>c. 欠測データ</p> <p>プラントパラメータ情報等の全部又は一部が常時伝送できない場合、当該期間のデータは「欠測」扱いとする。</p>	
<p>d. 代替措置</p> <p><u>規制庁が「異常」と判断した場合、伝送データ停止の期間、プラントパラメータ情報を電子メール又はFAX等の別の手段で定期的に連絡するよう要求されるため、原子力事業者は、基本的には添付資料-4で示す内容に従い、規制庁と必要なデータ・連絡時期等を調整し、規制庁及び規制事務所に電子メール又はFAX等により連絡する。</u></p> <p>なお、具体的な代替措置は8.(2)計画的な保守、点検による伝送データ停止時の対応に従うこととする。</p>	<p>d. 代替措置</p> <p><u>不具合等によりプラントパラメータ情報等の全部又は一部が常時伝送できない場合、伝送データ停止期間における代替措置について、伝送データが停止した当日の平日勤務時間帯(9:30~18:15)または伝送データの停止が休祝日及び夜間の場合は翌営業日の勤務時間帯(9:30~18:15)に、基本的には添付資料-4に示す内容に従い、規制庁(緊急事案対策室)と必要なデータ・連絡時期等を調整し、代替措置は、規制庁(添付資料-4に示す代替措置データ送付先)及び規制事務所に電子メール等により連絡する。</u></p> <p>なお、具体的な代替措置は8.(2)計画的な保守、点検による伝送データ停止時の措置の対応に従うこととする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合等発生時の代替措置について対象範囲を見直し ・対応箇所の明確化 ・記載の適正化
<p>9. その他</p> <p>本マニュアルに定めていない事項及び疑義のある事項については、都度、規制庁と協議し、解決する。なお、本マニュアルの改訂が必要となる場合は、原子力事業者の規定類への反映等も必要となるため、運用開始まで2ヵ月程度のリードタイムが必要であることに留意する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>9. その他</p> <p>本マニュアルに定めていない事項及び疑義のある事項については、都度、規制庁と協議し、解決する。なお、本マニュアルの改訂が必要となる場合は、原子力事業者の規程類への反映等も必要となるため、運用開始まで2ヵ月程度のリードタイムが必要であることに留意する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

現行 (2019年7月 第6次改訂)		修正案	見直し理由
添付資料-1		(変更なし)	(変更なし)
No.	常時伝送項目	工学単位	備考
1	格納容器排気筒ガスモニタ	cpm	
2	格納容器排気筒高レンジガスモニタ(R-42A)	cpm	
3	格納容器排気筒高レンジガスモニタ(R-42B)	cpm	
4	補助建		各社の伝送データを記載する
5	補助建		
6	補助建		
7	風向()		
8	風速(7F07)(気象鉄塔)	m/s	
9	大気安定度	-	
10	モニタステーション空間線量率	nGy/h	
11	モニタポストNO. 1空間線量率	nGy/h	
12	モニタポストNO. 2空間線量率	nGy/h	
13	モニタポストNO. 3空間線量率	nGy/h	
14	モニタポストNO. 4空間線量率	nGy/h	
15	ループ1B 1次冷却材圧力	MPa	
16	ループ1A 1次冷却材高温側温度(広域)	°C	
17	ループ1B 1次冷却材高温側温度(広域)	°C	
18	高圧注入ライン原子炉容器側流量	m ³ /h	
19	高圧注入ライン低温配管側流量	m ³ /h	
20	余熱除去ループ1A流量	m ³ /h	
21	余熱除去ループ1B流量	m ³ /h	
22	高圧注入ポンプ1A(運転/停止)	-	
23	高圧注入ポンプ1B(運転/停止)	-	
24	余熱除去ポンプ1A(運転/停止)	-	
25	余熱除去ポンプ1B(運転/停止)	-	
26	出力領域チャンネル出力平均値1分間平均値	%	
27	中間領域電流 CH1	A	
28	中間領域電流 CH2	A	
29	制御棒落下(引抜/全挿入)	-	
30	加圧器水位	%	

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
<div data-bbox="201 403 593 1054" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【定義】 ERSS常時伝送システムの停止： 図において、実線で枠囲いされたシステム（プリント計算機、放射線管理用計算機等）若しくは、実線で示されたケータラ等（プラント）の故障又は保守・点検等により第1データセンター及び第2データセンターへの伝送が停止し、プラントパラメータ情報が継続的にERSS常時伝送システムに伝送できない場合（伝送1回程度のデータが欠損した場合は除く）をいう。 測定機器側の故障等： 図において、破線で示した各社の測定機器等の故障又は保守・点検等により第1データセンター及び第2データセンターへの伝送が停止し、プラントパラメータ情報が継続的にERSS常時伝送システムに伝送できない場合をいう。</p> </div> <div data-bbox="278 373 1133 1774" style="text-align: center;"> <p>添付資料-2</p> </div> <div data-bbox="1151 667 1181 1486" style="text-align: center;"> <p>システム構成概要図の例とERSS常時伝送システムの停止・測定機器側の故障等の定義</p> </div>	<p>(変更なし)</p>	<p>(変更なし)</p>

現行 (2019年7月 第6次改訂)		修正案		見直し理由																	
添付資料-3 E R S S 常時伝送システムの停止時及び測定機器側の故障等時の連絡について		添付資料-3 E R S S 常時伝送システムの停止時及び測定機器側の故障等時の連絡について																			
【計画的な保守、点検による停止】		【計画的な保守、点検による停止】		<ul style="list-style-type: none"> ・記載の適正化 ・対応箇所の明確化 																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>プラント状況</th> <th>停止範囲</th> <th>各社からの連絡のタイミング</th> <th>連絡先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プラント運転中 注1 プラント停止中 注2 を問わず</td> <td>システム・測定機器を問わず</td> <td>事前連絡 原則平日勤務時間帯 (夜間・<u>休祭日</u>の連絡が必要となった場合は、以下の「不具合等による停止」と同様の運用とする)</td> <td>原子力規制庁 原子力規制事務所</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：BWR：原子炉の状態が「運転」、「起動」、「高温停止」 PWR：運転モードが4以上</p> <p>注2：BWR：原子炉の状態が「冷温停止」、「燃料交換」 PWR：運転モードが5及び6並びにモード外 共通：運転終了及び廃止措置中のプラント</p>	プラント状況	停止範囲	各社からの連絡のタイミング		連絡先	プラント運転中 注1 プラント停止中 注2 を問わず	システム・測定機器を問わず	事前連絡 原則平日勤務時間帯 (夜間・ <u>休祭日</u> の連絡が必要となった場合は、以下の「不具合等による停止」と同様の運用とする)	原子力規制庁 原子力規制事務所	<table border="1"> <thead> <tr> <th>プラント状況</th> <th>停止範囲</th> <th>各社からの連絡のタイミング</th> <th>連絡先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プラント運転中 注1 プラント停止中 注2 を問わず</td> <td>システム・測定機器を問わず</td> <td>事前連絡 <u>(原則3営業日前までの平日勤務時間帯(9:30~18:15))</u> (夜間・<u>休祝日</u>の連絡が必要となった場合は、以下の「不具合等による停止」と同様の運用とする)</td> <td>原子力規制庁 <u>(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)</u> 原子力規制事務所</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：BWR：原子炉の状態が「運転」、「起動」、「高温停止」 PWR：運転モードが4以上</p> <p>注2：BWR：原子炉の状態が「冷温停止」、「燃料交換」 PWR：運転モードが5及び6並びにモード外 共通：運転終了及び廃止措置中のプラント</p>	プラント状況	停止範囲	各社からの連絡のタイミング	連絡先	プラント運転中 注1 プラント停止中 注2 を問わず	システム・測定機器を問わず	事前連絡 <u>(原則3営業日前までの平日勤務時間帯(9:30~18:15))</u> (夜間・ <u>休祝日</u> の連絡が必要となった場合は、以下の「不具合等による停止」と同様の運用とする)	原子力規制庁 <u>(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)</u> 原子力規制事務所			
プラント状況	停止範囲	各社からの連絡のタイミング	連絡先																		
プラント運転中 注1 プラント停止中 注2 を問わず	システム・測定機器を問わず	事前連絡 原則平日勤務時間帯 (夜間・ <u>休祭日</u> の連絡が必要となった場合は、以下の「不具合等による停止」と同様の運用とする)	原子力規制庁 原子力規制事務所																		
プラント状況	停止範囲	各社からの連絡のタイミング	連絡先																		
プラント運転中 注1 プラント停止中 注2 を問わず	システム・測定機器を問わず	事前連絡 <u>(原則3営業日前までの平日勤務時間帯(9:30~18:15))</u> (夜間・ <u>休祝日</u> の連絡が必要となった場合は、以下の「不具合等による停止」と同様の運用とする)	原子力規制庁 <u>(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)</u> 原子力規制事務所																		
【原子力事業者が不具合等を確認した場合】		【原子力事業者が不具合等を確認した場合】		<ul style="list-style-type: none"> ・対応箇所の明確化 ・記載の適正化 ・不具合等発生時の代替措置について対象範囲を見直し 																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>プラント状況</th> <th>停止範囲</th> <th>各社からの連絡のタイミング</th> <th>連絡先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">プラント運転中・停止中を問わず</td> <td rowspan="3">システム・測定機器を問わず 注3</td> <td rowspan="3">不具合等による伝送停止確認後直ちに</td> <td>平日 原子力規制庁 原子力規制事務所 注4</td> </tr> <tr> <td><u>休祭日</u> 原子力規制庁連絡担当者 原子力規制事務所 注4</td> </tr> <tr> <td>夜間 注4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3：プラント停止期間中の連絡をしているユニット（号機）の測定機器側の停止の場合 <u>については、本項の対象外とする</u></p> <p>注4：第1データセンター又は第2データセンターの一方が停止となった場合、情報連絡として緊急時ネットワーク監視センターに電話又は電子メールによる連絡を行う。</p>	プラント状況	停止範囲	各社からの連絡のタイミング		連絡先	プラント運転中・停止中を問わず	システム・測定機器を問わず 注3	不具合等による伝送停止確認後直ちに	平日 原子力規制庁 原子力規制事務所 注4	<u>休祭日</u> 原子力規制庁連絡担当者 原子力規制事務所 注4	夜間 注4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>プラント状況</th> <th>停止範囲</th> <th>各社からの連絡のタイミング</th> <th>連絡先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">プラント運転中・停止中を問わず</td> <td rowspan="3">システム・測定機器を問わず 注3</td> <td rowspan="3">不具合等による伝送停止確認後直ちに</td> <td>平日 原子力規制庁 <u>(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)</u> 原子力規制事務所 注4</td> </tr> <tr> <td><u>休祝日</u> 原子力規制庁連絡担当者 原子力規制事務所 注4</td> </tr> <tr> <td>夜間 注4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3：プラント停止期間中の連絡をしているユニット（号機） <u>については、様式4のサンプルに記載する重要なパラメータ以外</u>の測定機器側の停止の場合 <u>は本項の対象外とする。(様式4のサンプルに記載する重要なパラメータであっても、不具合等に関係なく計画的に伝送を停止していたパラメータは対象外)</u></p> <p>注4：第1データセンター又は第2データセンターの一方が停止となった場合、情報連絡として緊急時ネットワーク監視センターに電話又は電子メールによる連絡を行う。</p>	プラント状況	停止範囲	各社からの連絡のタイミング	連絡先	プラント運転中・停止中を問わず	システム・測定機器を問わず 注3	不具合等による伝送停止確認後直ちに	平日 原子力規制庁 <u>(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)</u> 原子力規制事務所 注4	<u>休祝日</u> 原子力規制庁連絡担当者 原子力規制事務所 注4
プラント状況	停止範囲	各社からの連絡のタイミング	連絡先																		
プラント運転中・停止中を問わず	システム・測定機器を問わず 注3	不具合等による伝送停止確認後直ちに	平日 原子力規制庁 原子力規制事務所 注4																		
			<u>休祭日</u> 原子力規制庁連絡担当者 原子力規制事務所 注4																		
			夜間 注4																		
プラント状況	停止範囲	各社からの連絡のタイミング	連絡先																		
プラント運転中・停止中を問わず	システム・測定機器を問わず 注3	不具合等による伝送停止確認後直ちに	平日 原子力規制庁 <u>(緊急事案対策室、情報システム室及び緊急時ネットワーク監視センター)</u> 原子力規制事務所 注4																		
			<u>休祝日</u> 原子力規制庁連絡担当者 原子力規制事務所 注4																		
			夜間 注4																		

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
<p style="text-align: right;">添付資料-4</p> <p style="text-align: center;">E R S S 自動データ取得不具合時の電子メール又はF A X等による 送付データ項目に関して</p>	<p style="text-align: right;">添付資料-4</p> <p style="text-align: center;">E R S S 自動データ取得不具合時の電子メール又はF A X等による 送付データ項目に関して</p>	
<p>規制庁から、プラントパラメータ等の伝送を求められた場合に伝送する標準的なデータを以下に示す。</p> <p>ただし、事故の状況に応じて、規制庁と必要なデータ・連絡時期等を調整する場合もあり、項目は変更となる可能性がある。</p>	<p>規制庁から、プラントパラメータ等の伝送を求められた場合に伝送する標準的なデータを以下に示す。</p> <p>ただし、事故の状況に応じて、規制庁と必要なデータ・連絡時期等を調整する場合もあり、項目は変更となる可能性がある。</p>	
<p>1. E R S S 機器で必要な伝送項目</p> <p>I C S は1分毎に送信されるプラント毎の詳細な状態を表示することができるが、常時において事故等の発生がないかを確認するためには、I C S のプラントサマリとして表示される「止める」「冷やす」及び「閉じ込める」の項目が最低限必要とされる。</p> <p>異常事態発生時においては、事故進展を予測するA P S がプラント状況入力に必要な「原子炉停止時刻」「E C C S 等機器動作状況」、及び予測の状態確認に必要な圧力、温度等（プラント型により項目が異なる。）が必要となる。</p> <p>なお、A P S の予測は100%出力運転時に発生した事故に限定されるため、異常発生時において追加で必要とする項目は、運転中のプラントを対象とする。</p>	<p>1. E R S S 機器で必要な伝送項目</p> <p>I C S は1分毎に送信されるプラント毎の詳細な状態を表示することができるが、常時において事故等の発生がないかを確認するためには、I C S のプラントサマリとして表示される「止める」「冷やす」及び「閉じ込める」の項目が最低限必要とされる。</p> <p>異常事態発生時においては、事故進展を予測するA P S がプラント状況入力に必要な「原子炉停止時刻」「E C C S 等機器動作状況」、及び予測の状態確認に必要な圧力、温度等（プラント型により項目が異なる。）が必要となる。</p> <p>なお、A P S の予測は100%出力運転時に発生した事故に限定されるため、異常発生時において追加で必要とする項目は、運転中のプラントを対象とする。</p>	
<p>(1) 状態確認に必要な項目</p> <p>プラントサマリの表示項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「止める」 <ul style="list-style-type: none"> - 原子炉出力 - 制御棒の挿入状態 ・「冷やす」 <ul style="list-style-type: none"> - 非常用母線電圧 - 原子炉水位（BWR）／加圧器水位（PWR） - 原子炉圧力 - 原子炉冷却材温度 - 一次系サブクール度（PWRプラントのみ） ・「閉じ込める」 <ul style="list-style-type: none"> - 敷地境界のモニタリングポスト値 - 排気筒モニタ値（主排気筒、非常用排気筒） - 放水口モニタ値 	<p>(1) 状態確認に必要な項目</p> <p>プラントサマリの表示項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「止める」 <ul style="list-style-type: none"> - 原子炉出力 - 制御棒の挿入状態 ・「冷やす」 <ul style="list-style-type: none"> - 非常用母線電圧 - 原子炉水位（BWR）／加圧器水位（PWR） - 原子炉圧力 - 原子炉冷却材温度 - 一次系サブクール度（PWRプラントのみ） ・「閉じ込める」 <ul style="list-style-type: none"> - 敷地境界のモニタリングポスト値 - 排気筒モニタ値（主排気筒、非常用排気筒） - 放水口モニタ値 	

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
<p>(2) 運転中プラントを対象とする追加項目</p> <ul style="list-style-type: none">・全プラント共通<ul style="list-style-type: none">－ 原子炉停止時刻－ 機器作動状況 (H P I XX月XX日 XX時XX分 作動 等)	<p>(2) 運転中プラントを対象とする追加項目</p> <ul style="list-style-type: none">・全プラント共通<ul style="list-style-type: none">－ 原子炉停止時刻－ 機器作動状況 (H P I XX月XX日 XX時XX分 作動 等)	
<ul style="list-style-type: none">・ PWRプラント<ul style="list-style-type: none">－ 格納容器圧力－ 格納容器雰囲気温度－ 蒸気発生器圧力－ 蒸気発生器広域水位・ BWRプラント<ul style="list-style-type: none">－ ドライウエル圧力－ ドライウエル温度－ 圧力制御室圧力－ サプレッションプール水温	<ul style="list-style-type: none">・ PWRプラント<ul style="list-style-type: none">－ 格納容器圧力－ 格納容器雰囲気温度－ 蒸気発生器圧力－ 蒸気発生器広域水位・ BWRプラント<ul style="list-style-type: none">－ ドライウエル圧力－ ドライウエル温度－ 圧力制御室圧力－ サプレッションプール水温	
<p>(3) 使用済燃料貯蔵プールの状況監視に必要な項目</p> <ul style="list-style-type: none">・全プラント共通<ul style="list-style-type: none">－ 水位－ 水温－ エリアモニタ	<p>(3) 使用済燃料貯蔵プールの状況監視に必要な項目</p> <ul style="list-style-type: none">・全プラント共通<ul style="list-style-type: none">－ 水位－ 水温－ エリアモニタ	
<p>2. データ送付方法</p> <p>書式のサンプルを様式4に示す。項目は、プラントタイプの差、モニタリングポスト台数の差等によってサイト毎に異なる。また、日本語表記もサイト毎に表現が異なるため、書式はサイト個別に別途作成する。なお、様式は必要の情報を網羅した様式であればよく様式4の体裁であることを必須としない。</p> <p>代替措置データ送付先：<input type="text"/></p> <p>メール送付時の件名 件名：【〇〇電力□□発電所△号機】(代替措置) E R S S 伝送停止に伴うデータ送付</p> <p>規制庁にてメールの振り分けを行うため、件名のうちカッコ部は固定とすること。</p>	<p>2. データ送付方法</p> <p>書式のサンプルを様式4に示す。項目は、プラントタイプの差、モニタリングポスト台数の差等によってサイト毎に異なる。また、日本語表記もサイト毎に表現が異なるため、書式はサイト個別に別途作成する。なお、様式は必要の情報を網羅した様式であればよく様式4の体裁であることを必須としない。</p> <p>代替措置データ送付先：<input type="text"/></p> <p>メール送付時の件名 件名：【〇〇電力□□発電所△号機】(代替措置) E R S S 伝送停止に伴うデータ送付</p> <p>規制庁にてメールの振り分けを行うため、件名のうちカッコ部は固定とすること。</p>	

代替措置の実施イメージ

時間	作業開始(平日)							作業中(休曜日)							作業終了(平日)																									
	6	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
作業停止期間	13:30~																																							
記録(中央制御室)	点検開始※1																																							
記録(現場)	15:30																																							
データ送信	15:30																																							
作業停止期間	13:30~																																							
記録(中央制御室)	点検開始※1																																							
記録(現場)	15:30																																							
データ送信	15:30																																							
作業停止期間	13:30~																																							
記録(中央制御室)	点検開始※1																																							
記録(現場)	15:30																																							
データ送信	15:30																																							

※1 直後に伴いデータ伝送が停止した後、速やかに規制庁(代替措置「一方送付先」へ伝送を停止したこと)及び代替措置を開始することを連絡する。
 ※2 直後に伴い、作業内容にも依るが通信対向試験等を実施(試験開始時に緊急時ネットワーク監視センターへ連絡する)、事業者と規制庁双方で信等が正しく伝送できていることを確認した時点とする。
 ※3 前日作業の単位においては、作業中の監視終了時にアラームの戻り通知がないよう注意すること、当日の作業終了を規制庁(代替措置「一方送付先」へ連絡する。
 なお、当日の作業終了後ERSへの伝送が正しく行われていることについて、原子力事業者が確認する。

添付資料-5

(変更なし)

現行 (2019年7月 第6次改訂)

修正案

見直し理由

様式1

連絡窓口 担当者一覧表

年 月 日

	連絡窓口						備考
	正			副			
	氏名	電話番号 (携帯電話)	e-mail address	氏名	電話番号 (携帯電話)	e-mail address	
北海道電力							
東北電力							
東京電力							
中部電力							
北陸電力							
関西電力							
中国電力							
四国電力							
九州電力							
日本原電							
日本原燃							
JAEA							
原子力規制委員会 原子力規制庁							

様式1

連絡窓口 担当者一覧表

年 月 日

	連絡窓口						備考
	正			副			
	氏名	電話番号 (携帯電話)	e-mail address	氏名	電話番号 (携帯電話)	e-mail address	
北海道電力							
東北電力							
東京電力 HD							
中部電力							
北陸電力							
関西電力							
中国電力							
四国電力							
九州電力							
日本原電							
日本原燃							
JAEA							
原子力規制委員会 原子力規制庁							
緊急事案対策室							
情報システム室							
緊急時ネットワーク監視センター							

・記載の適正化

・規制庁連絡先の明確化

様式2

様式2

1. 緊急時対策支援システム(ERSS)における〇〇〇〇年〇〇月のデータ伝送の計画的な停止に関する状況

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日現在

原子力事業者	原子力施設	対象計算機	施設の稼働状況	データ伝送停止期間	データ伝送停止の内容・理由	
北海道電力株式会社	泊発電所	1号	運転停止中			
		2号	運転停止中			
		3号	運転停止中			
東北電力株式会社	東通原子力発電所	1号	運転停止中			
		2号	運転停止中			
		3号	運転停止中			
東京電力ホールディングス株式会社	福島第一原子力発電所	1号	特定原子力施設		福島第一事故による設備故障のため	
		2号	特定原子力施設			
		3号	特定原子力施設			
中部電力株式会社	浜岡原子力発電所	1号	運転停止中			廃止措置移行によりプラント情報の伝送終了
		2号	運転停止中			
		3号	運転停止中			
関西電力株式会社	美浜発電所	1号	運転停止中			
		2号	運転停止中			
		3号	運転停止中			
中国電力株式会社	島根原子力発電所	1号	運転停止中			
		2号	運転停止中			
		3号	運転停止中			

1. 緊急時対策支援システム(ERSS)における〇〇〇〇年〇〇月のデータ伝送の計画的な停止に関する状況

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日現在

原子力事業者	原子力施設	対象計算機	施設の稼働状況	データ伝送停止期間	データ伝送停止の内容・理由	
北海道電力株式会社	泊発電所	1号	運転停止中			
		2号	運転停止中			
		3号	運転停止中			
東北電力株式会社	東通原子力発電所	1号	運転停止中			
		2号	運転停止中			
		3号	運転停止中			
東京電力ホールディングス株式会社	福島第一原子力発電所	1号	特定原子力施設		福島第一事故による設備故障のため	
		2号	特定原子力施設			
		3号	特定原子力施設			
中部電力株式会社	浜岡原子力発電所	1号	運転停止中			廃止措置移行によりプラント情報の伝送終了
		2号	運転停止中			
		3号	運転停止中			
関西電力株式会社	美浜発電所	1号	運転停止中			
		2号	運転停止中			
		3号	運転停止中			
中国電力株式会社	島根原子力発電所	1号	運転停止中			
		2号	運転停止中			
		3号	運転停止中			

- ・東北女川の「施設の稼働状況」の記載を修正
- ・東京福島第一5号機の「データ伝送停止期間」等の記載を修正
- ・東京福島第二の「施設の稼働状況」の記載を修正
- ・関西美浜及び大飯の「施設の稼働状況」の記載を修正
- ・四国伊方の「施設の稼働状況」の記載を修正
- ・九州玄海の「施設の稼働状況」の記載を修正

※原子力規制庁では、上表のとおり停止している間において、万一、原子力施設で事故等が発生し、事故進展予測等のためにデータが必要な場合には、当該原子力施設からFAX、電子メール等により別途データを得ることにより万全を期すこととしています。
 ※データ伝送停止期間及びデータ伝送停止の内容・理由が「-」で示された原子力施設は、今月停止予定はありません。
 ※前回報告からの変更部分には、表の色を変えて表示しています。

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由																																																																																																																																																																																				
<p style="text-align: center;">様式4</p> <p style="text-align: center;">ERSS伝送停止期間中のプラントデータ連絡シート(BWR)</p> <p>発信者: ○○電力 ◆◆原子力発電所 発信日: 年 月 日 ()</p> <p style="text-align: right;">採取日時: 年 月 日 :</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">サイト名</th> <th colspan="2" style="width: 80%;">◆◆原子力発電所</th> </tr> <tr> <th>号機</th> <th>□号機</th> <th>△号機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)</td> </tr> <tr> <td>「止める」</td> <td>中性子束(%)</td> <td style="text-align: right;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全制御棒の位置</td> <td style="text-align: center;">通常/全挿入</td> </tr> <tr> <td>「冷やす」</td> <td>非常用母線電圧(kV)</td> <td style="text-align: center;">■(母線名) kV</td> </tr> <tr> <td></td> <td>非常用母線電圧(kV)</td> <td style="text-align: center;">■(母線名) kV</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉水位(mm)</td> <td style="text-align: center;">mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力(MPa)</td> <td style="text-align: center;">MPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>冷却材温度(°C)</td> <td style="text-align: center;">°C</td> </tr> <tr> <td>「閉じ込める」</td> <td>敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)</td> <td style="text-align: center;">No1 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">No2 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">No3 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">No4 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">No5 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">No6 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主排気筒モニタ(cps)</td> <td style="text-align: center;">cps</td> </tr> <tr> <td></td> <td>放水口モニタ(cpm)</td> <td style="text-align: center;">cpm</td> </tr> <tr> <td>運転中プラントを対象とするパラメータ</td> <td>原子炉停止時刻(日時)</td> <td style="text-align: center;">月 日 時 分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ドライウエル圧力(kPa)</td> <td style="text-align: center;">kPa(a)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ドライウエル温度(°C)</td> <td style="text-align: center;">°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>圧力制御室圧力(kPa)</td> <td style="text-align: center;">kPa(a)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サブレーション水温度(°C)</td> <td style="text-align: center;">°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>機器作動状況(時間+ON/OFF等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>例: 主蒸気隔離弁 XX月XX日XX時XX分 閉 原子炉隔離時冷却系 XX月XX日XX時XX分 ON</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料プールの状況※</td> <td>水位(オーバフロー水位付近):未適合炉対象</td> <td style="text-align: center;">有・無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水位(mm):適合炉対象</td> <td style="text-align: center;">mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水温(°C)</td> <td style="text-align: center;">°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>エリアモニタ(mSv/h)</td> <td style="text-align: center;">mSv/h</td> </tr> <tr> <td>自由記入欄</td> <td colspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">サンプル (BWR)</p> </div> </td> </tr> </tbody> </table> <p>※ERSS停止時にインサートしているパラメータを対象とする。</p>	サイト名	◆◆原子力発電所		号機	□号機	△号機	プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)			「止める」	中性子束(%)	%		全制御棒の位置	通常/全挿入	「冷やす」	非常用母線電圧(kV)	■(母線名) kV		非常用母線電圧(kV)	■(母線名) kV		原子炉水位(mm)	mm		原子炉圧力(MPa)	MPa		冷却材温度(°C)	°C	「閉じ込める」	敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)	No1 (nGy/h)			No2 (nGy/h)			No3 (nGy/h)			No4 (nGy/h)			No5 (nGy/h)			No6 (nGy/h)		主排気筒モニタ(cps)	cps		放水口モニタ(cpm)	cpm	運転中プラントを対象とするパラメータ	原子炉停止時刻(日時)	月 日 時 分		ドライウエル圧力(kPa)	kPa(a)		ドライウエル温度(°C)	°C		圧力制御室圧力(kPa)	kPa(a)		サブレーション水温度(°C)	°C		機器作動状況(時間+ON/OFF等)			例: 主蒸気隔離弁 XX月XX日XX時XX分 閉 原子炉隔離時冷却系 XX月XX日XX時XX分 ON		燃料プールの状況※	水位(オーバフロー水位付近):未適合炉対象	有・無		水位(mm):適合炉対象	mm		水温(°C)	°C		エリアモニタ(mSv/h)	mSv/h	自由記入欄	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">サンプル (BWR)</p> </div>		<p style="text-align: right;">様式4</p> <p style="text-align: center;">ERSS伝送停止期間中のプラントデータ連絡シート(BWR)</p> <p>発信者: ○○電力 ◆◆原子力発電所 発信日: 年 月 日 ()</p> <p style="text-align: right;">採取日時: 年 月 日 :</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">サイト名</th> <th colspan="2" style="width: 80%;">◆◆原子力発電所</th> </tr> <tr> <th>号機</th> <th>□号機</th> <th>△号機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)</td> </tr> <tr> <td>「止める」</td> <td>中性子束(%)</td> <td style="text-align: right;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全制御棒の位置</td> <td style="text-align: center;">通常/全挿入</td> </tr> <tr> <td>「冷やす」</td> <td>非常用母線電圧(kV)</td> <td style="text-align: center;">■(母線名) kV</td> </tr> <tr> <td></td> <td>非常用母線電圧(kV)</td> <td style="text-align: center;">■(母線名) kV</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉水位(mm)</td> <td style="text-align: center;">mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力(MPa)</td> <td style="text-align: center;">MPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>冷却材温度(°C)</td> <td style="text-align: center;">°C</td> </tr> <tr> <td>「閉じ込める」</td> <td>敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)</td> <td style="text-align: center;">No1 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">No2 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">No3 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">No4 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">No5 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">No6 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主排気筒モニタ(cps)</td> <td style="text-align: center;">cps</td> </tr> <tr> <td></td> <td>放水口モニタ(cpm)</td> <td style="text-align: center;">cpm</td> </tr> <tr> <td>運転中プラントを対象とするパラメータ</td> <td>原子炉停止時刻(日時)</td> <td style="text-align: center;">月 日 時 分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ドライウエル圧力(kPa)</td> <td style="text-align: center;">kPa(a)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ドライウエル温度(°C)</td> <td style="text-align: center;">°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>圧力制御室圧力(kPa)</td> <td style="text-align: center;">kPa(a)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サブレーション水温度(°C)</td> <td style="text-align: center;">°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>機器作動状況(時間+ON/OFF等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>例: 主蒸気隔離弁 XX月XX日XX時XX分 閉 原子炉隔離時冷却系 XX月XX日XX時XX分 ON</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料プールの状況※</td> <td>水位(オーバフロー水位付近):未適合炉対象</td> <td style="text-align: center;">有・無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水位(mm):適合炉対象</td> <td style="text-align: center;">mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水温(°C)</td> <td style="text-align: center;">°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>エリアモニタ(mSv/h)</td> <td style="text-align: center;">mSv/h</td> </tr> <tr> <td>自由記入欄</td> <td colspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">サンプル (BWR)</p> </div> </td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ERSS停止時に伝送しているパラメータを対象とする。</p> </div>	サイト名	◆◆原子力発電所		号機	□号機	△号機	プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)			「止める」	中性子束(%)	%		全制御棒の位置	通常/全挿入	「冷やす」	非常用母線電圧(kV)	■(母線名) kV		非常用母線電圧(kV)	■(母線名) kV		原子炉水位(mm)	mm		原子炉圧力(MPa)	MPa		冷却材温度(°C)	°C	「閉じ込める」	敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)	No1 (nGy/h)			No2 (nGy/h)			No3 (nGy/h)			No4 (nGy/h)			No5 (nGy/h)			No6 (nGy/h)		主排気筒モニタ(cps)	cps		放水口モニタ(cpm)	cpm	運転中プラントを対象とするパラメータ	原子炉停止時刻(日時)	月 日 時 分		ドライウエル圧力(kPa)	kPa(a)		ドライウエル温度(°C)	°C		圧力制御室圧力(kPa)	kPa(a)		サブレーション水温度(°C)	°C		機器作動状況(時間+ON/OFF等)			例: 主蒸気隔離弁 XX月XX日XX時XX分 閉 原子炉隔離時冷却系 XX月XX日XX時XX分 ON		燃料プールの状況※	水位(オーバフロー水位付近):未適合炉対象	有・無		水位(mm):適合炉対象	mm		水温(°C)	°C		エリアモニタ(mSv/h)	mSv/h	自由記入欄	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">サンプル (BWR)</p> </div>		<p style="text-align: center;">・記載の適正化</p>
サイト名	◆◆原子力発電所																																																																																																																																																																																					
号機	□号機	△号機																																																																																																																																																																																				
プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)																																																																																																																																																																																						
「止める」	中性子束(%)	%																																																																																																																																																																																				
	全制御棒の位置	通常/全挿入																																																																																																																																																																																				
「冷やす」	非常用母線電圧(kV)	■(母線名) kV																																																																																																																																																																																				
	非常用母線電圧(kV)	■(母線名) kV																																																																																																																																																																																				
	原子炉水位(mm)	mm																																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力(MPa)	MPa																																																																																																																																																																																				
	冷却材温度(°C)	°C																																																																																																																																																																																				
「閉じ込める」	敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)	No1 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
		No2 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
		No3 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
		No4 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
		No5 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
		No6 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
	主排気筒モニタ(cps)	cps																																																																																																																																																																																				
	放水口モニタ(cpm)	cpm																																																																																																																																																																																				
運転中プラントを対象とするパラメータ	原子炉停止時刻(日時)	月 日 時 分																																																																																																																																																																																				
	ドライウエル圧力(kPa)	kPa(a)																																																																																																																																																																																				
	ドライウエル温度(°C)	°C																																																																																																																																																																																				
	圧力制御室圧力(kPa)	kPa(a)																																																																																																																																																																																				
	サブレーション水温度(°C)	°C																																																																																																																																																																																				
	機器作動状況(時間+ON/OFF等)																																																																																																																																																																																					
	例: 主蒸気隔離弁 XX月XX日XX時XX分 閉 原子炉隔離時冷却系 XX月XX日XX時XX分 ON																																																																																																																																																																																					
燃料プールの状況※	水位(オーバフロー水位付近):未適合炉対象	有・無																																																																																																																																																																																				
	水位(mm):適合炉対象	mm																																																																																																																																																																																				
	水温(°C)	°C																																																																																																																																																																																				
	エリアモニタ(mSv/h)	mSv/h																																																																																																																																																																																				
自由記入欄	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">サンプル (BWR)</p> </div>																																																																																																																																																																																					
サイト名	◆◆原子力発電所																																																																																																																																																																																					
号機	□号機	△号機																																																																																																																																																																																				
プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)																																																																																																																																																																																						
「止める」	中性子束(%)	%																																																																																																																																																																																				
	全制御棒の位置	通常/全挿入																																																																																																																																																																																				
「冷やす」	非常用母線電圧(kV)	■(母線名) kV																																																																																																																																																																																				
	非常用母線電圧(kV)	■(母線名) kV																																																																																																																																																																																				
	原子炉水位(mm)	mm																																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力(MPa)	MPa																																																																																																																																																																																				
	冷却材温度(°C)	°C																																																																																																																																																																																				
「閉じ込める」	敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)	No1 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
		No2 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
		No3 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
		No4 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
		No5 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
		No6 (nGy/h)																																																																																																																																																																																				
	主排気筒モニタ(cps)	cps																																																																																																																																																																																				
	放水口モニタ(cpm)	cpm																																																																																																																																																																																				
運転中プラントを対象とするパラメータ	原子炉停止時刻(日時)	月 日 時 分																																																																																																																																																																																				
	ドライウエル圧力(kPa)	kPa(a)																																																																																																																																																																																				
	ドライウエル温度(°C)	°C																																																																																																																																																																																				
	圧力制御室圧力(kPa)	kPa(a)																																																																																																																																																																																				
	サブレーション水温度(°C)	°C																																																																																																																																																																																				
	機器作動状況(時間+ON/OFF等)																																																																																																																																																																																					
	例: 主蒸気隔離弁 XX月XX日XX時XX分 閉 原子炉隔離時冷却系 XX月XX日XX時XX分 ON																																																																																																																																																																																					
燃料プールの状況※	水位(オーバフロー水位付近):未適合炉対象	有・無																																																																																																																																																																																				
	水位(mm):適合炉対象	mm																																																																																																																																																																																				
	水温(°C)	°C																																																																																																																																																																																				
	エリアモニタ(mSv/h)	mSv/h																																																																																																																																																																																				
自由記入欄	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">サンプル (BWR)</p> </div>																																																																																																																																																																																					

現行 (2019年7月 第6次改訂)																																																																																																																																																																								
<p>ERSS伝送停止期間中のプラントデータ連絡シート(PWR)</p> <p>発信者: ○○電力 ◆◆原子力発電所 発信日: 年 月 日 ()</p> <p style="text-align: right;">採取日時 年 月 日 :</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>サイト名</th> <th colspan="3">◆◆原子力発電所</th> </tr> <tr> <th>号機</th> <th>1号機</th> <th>2号機</th> <th>3号機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)</td> </tr> <tr> <td>「止める」</td> <td>出力領域平均中性子束(中間値)</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>制御棒の位置</td> <td>通常/全挿入</td> <td>通常/全挿入</td> <td>通常/全挿入</td> </tr> <tr> <td>「冷やす」</td> <td>A非常用母線電圧(kV)</td> <td>kV</td> <td>kV</td> <td>kV</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B非常用母線電圧(kV)</td> <td>kV</td> <td>kV</td> <td>kV</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材サブクール度(°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材高温側温度 A (°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材高温側温度 B (°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材高温側温度 C (°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材圧力(MPa)</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧器水位(%)</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>「閉じ込める」</td> <td>敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)</td> <td>No1 (nGy/h)</td> <td>No2 (nGy/h)</td> <td>No3 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>No4 (nGy/h)</td> <td>No5 (nGy/h)</td> <td>No6 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>No7 (nGy/h)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>主排気筒ガスモニタ(cpm)</td> <td>cpm</td> <td>cpm</td> <td>cpm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>非常用排気筒ガスモニタ(cpm)</td> <td>cpm</td> <td>cpm</td> <td>cpm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>放水口モニタ(cps)</td> <td>cps</td> <td>cps</td> <td>cps</td> </tr> <tr> <td>運転中プラントを 対象とするパラ メータ</td> <td>原子炉停止時刻(日時)</td> <td>月 日 時 分</td> <td>月 日 時 分</td> <td>月 日 時 分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器圧力(kPa)</td> <td>kPa</td> <td>kPa</td> <td>kPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器雰囲気温度(°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器圧力 A (MPa)</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器広域水位 A (%)</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器圧力 B (MPa)</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器広域水位 B (%)</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器圧力 C (MPa)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器広域水位 C (%)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>機器作動状況(時間+ON/OFF等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>例: 蒸気発生器逃し弁 XX月XX日XX時XX分 開 高圧注水 XX月XX日XX時XX分 ON</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット の状況※</td> <td>水位(NWL)</td> <td>cm</td> <td>cm</td> <td>cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水温(°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>エリアモニタ(mSv/h)</td> <td>mSv/h</td> <td>mSv/h</td> <td>mSv/h</td> </tr> <tr> <td>自由記入欄</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	サイト名	◆◆原子力発電所			号機	1号機	2号機	3号機	プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)				「止める」	出力領域平均中性子束(中間値)	%	%	%		制御棒の位置	通常/全挿入	通常/全挿入	通常/全挿入	「冷やす」	A非常用母線電圧(kV)	kV	kV	kV		B非常用母線電圧(kV)	kV	kV	kV		1次冷却材サブクール度(°C)	°C	°C	°C		1次冷却材高温側温度 A (°C)	°C	°C	°C		1次冷却材高温側温度 B (°C)	°C	°C	°C		1次冷却材高温側温度 C (°C)	°C	°C	°C		1次冷却材圧力(MPa)	MPa	MPa	MPa		加圧器水位(%)	%	%	%	「閉じ込める」	敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)	No1 (nGy/h)	No2 (nGy/h)	No3 (nGy/h)			No4 (nGy/h)	No5 (nGy/h)	No6 (nGy/h)			No7 (nGy/h)				主排気筒ガスモニタ(cpm)	cpm	cpm	cpm		非常用排気筒ガスモニタ(cpm)	cpm	cpm	cpm		放水口モニタ(cps)	cps	cps	cps	運転中プラントを 対象とするパラ メータ	原子炉停止時刻(日時)	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分		格納容器圧力(kPa)	kPa	kPa	kPa		格納容器雰囲気温度(°C)	°C	°C	°C		蒸気発生器圧力 A (MPa)	MPa	MPa	MPa		蒸気発生器広域水位 A (%)	%	%	%		蒸気発生器圧力 B (MPa)	MPa	MPa	MPa		蒸気発生器広域水位 B (%)	%	%	%		蒸気発生器圧力 C (MPa)	—	—	MPa		蒸気発生器広域水位 C (%)	—	—	%		機器作動状況(時間+ON/OFF等)					例: 蒸気発生器逃し弁 XX月XX日XX時XX分 開 高圧注水 XX月XX日XX時XX分 ON				使用済燃料ピット の状況※	水位(NWL)	cm	cm	cm		水温(°C)	°C	°C	°C		エリアモニタ(mSv/h)	mSv/h	mSv/h	mSv/h	自由記入欄					<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">サンプル (PWR)</p>
サイト名	◆◆原子力発電所																																																																																																																																																																							
号機	1号機	2号機	3号機																																																																																																																																																																					
プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)																																																																																																																																																																								
「止める」	出力領域平均中性子束(中間値)	%	%	%																																																																																																																																																																				
	制御棒の位置	通常/全挿入	通常/全挿入	通常/全挿入																																																																																																																																																																				
「冷やす」	A非常用母線電圧(kV)	kV	kV	kV																																																																																																																																																																				
	B非常用母線電圧(kV)	kV	kV	kV																																																																																																																																																																				
	1次冷却材サブクール度(°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	1次冷却材高温側温度 A (°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	1次冷却材高温側温度 B (°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	1次冷却材高温側温度 C (°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	1次冷却材圧力(MPa)	MPa	MPa	MPa																																																																																																																																																																				
	加圧器水位(%)	%	%	%																																																																																																																																																																				
「閉じ込める」	敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)	No1 (nGy/h)	No2 (nGy/h)	No3 (nGy/h)																																																																																																																																																																				
		No4 (nGy/h)	No5 (nGy/h)	No6 (nGy/h)																																																																																																																																																																				
		No7 (nGy/h)																																																																																																																																																																						
	主排気筒ガスモニタ(cpm)	cpm	cpm	cpm																																																																																																																																																																				
	非常用排気筒ガスモニタ(cpm)	cpm	cpm	cpm																																																																																																																																																																				
	放水口モニタ(cps)	cps	cps	cps																																																																																																																																																																				
運転中プラントを 対象とするパラ メータ	原子炉停止時刻(日時)	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分																																																																																																																																																																				
	格納容器圧力(kPa)	kPa	kPa	kPa																																																																																																																																																																				
	格納容器雰囲気温度(°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器圧力 A (MPa)	MPa	MPa	MPa																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器広域水位 A (%)	%	%	%																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器圧力 B (MPa)	MPa	MPa	MPa																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器広域水位 B (%)	%	%	%																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器圧力 C (MPa)	—	—	MPa																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器広域水位 C (%)	—	—	%																																																																																																																																																																				
	機器作動状況(時間+ON/OFF等)																																																																																																																																																																							
	例: 蒸気発生器逃し弁 XX月XX日XX時XX分 開 高圧注水 XX月XX日XX時XX分 ON																																																																																																																																																																							
使用済燃料ピット の状況※	水位(NWL)	cm	cm	cm																																																																																																																																																																				
	水温(°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	エリアモニタ(mSv/h)	mSv/h	mSv/h	mSv/h																																																																																																																																																																				
自由記入欄																																																																																																																																																																								
<p>※ERSS停止時にインサートされているパラメータを対象とする。</p>																																																																																																																																																																								

修正案																																																																																																																																																																								
様式4																																																																																																																																																																								
ERSS伝送停止期間中のプラントデータ連絡シート(PWR)																																																																																																																																																																								
<p>発信者: ○○電力 ◆◆原子力発電所 発信日: 年 月 日 ()</p> <p style="text-align: right;">採取日時 年 月 日 :</p>																																																																																																																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>サイト名</th> <th colspan="3">◆◆原子力発電所</th> </tr> <tr> <th>号機</th> <th>1号機</th> <th>2号機</th> <th>3号機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)</td> </tr> <tr> <td>「止める」</td> <td>出力領域平均中性子束(中間値)</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>制御棒の位置</td> <td>通常/全挿入</td> <td>通常/全挿入</td> <td>通常/全挿入</td> </tr> <tr> <td>「冷やす」</td> <td>A非常用母線電圧(kV)</td> <td>kV</td> <td>kV</td> <td>kV</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B非常用母線電圧(kV)</td> <td>kV</td> <td>kV</td> <td>kV</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材サブクール度(°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材高温側温度 A (°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材高温側温度 B (°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材高温側温度 C (°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材圧力(MPa)</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧器水位(%)</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>「閉じ込める」</td> <td>敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)</td> <td>No1 (nGy/h)</td> <td>No2 (nGy/h)</td> <td>No3 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>No4 (nGy/h)</td> <td>No5 (nGy/h)</td> <td>No6 (nGy/h)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>No7 (nGy/h)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>主排気筒ガスモニタ(cpm)</td> <td>cpm</td> <td>cpm</td> <td>cpm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>非常用排気筒ガスモニタ(cpm)</td> <td>cpm</td> <td>cpm</td> <td>cpm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>放水口モニタ(cps)</td> <td>cps</td> <td>cps</td> <td>cps</td> </tr> <tr> <td>運転中プラントを 対象とするパ ラメータ</td> <td>原子炉停止時刻(日時)</td> <td>月 日 時 分</td> <td>月 日 時 分</td> <td>月 日 時 分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器圧力(kPa)</td> <td>kPa</td> <td>kPa</td> <td>kPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器雰囲気温度(°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器圧力 A (MPa)</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器広域水位 A (%)</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器圧力 B (MPa)</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器広域水位 B (%)</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器圧力 C (MPa)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器広域水位 C (%)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>機器作動状況(時間+ON/OFF等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>例: 蒸気発生器逃し弁 XX月XX日XX時XX分 開 高圧注水 XX月XX日XX時XX分 ON</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット の状況※</td> <td>水位(NWL)</td> <td>cm</td> <td>cm</td> <td>cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水温(°C)</td> <td>°C</td> <td>°C</td> <td>°C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>エリアモニタ(mSv/h)</td> <td>mSv/h</td> <td>mSv/h</td> <td>mSv/h</td> </tr> <tr> <td>自由記入欄</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	サイト名	◆◆原子力発電所			号機	1号機	2号機	3号機	プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)				「止める」	出力領域平均中性子束(中間値)	%	%	%		制御棒の位置	通常/全挿入	通常/全挿入	通常/全挿入	「冷やす」	A非常用母線電圧(kV)	kV	kV	kV		B非常用母線電圧(kV)	kV	kV	kV		1次冷却材サブクール度(°C)	°C	°C	°C		1次冷却材高温側温度 A (°C)	°C	°C	°C		1次冷却材高温側温度 B (°C)	°C	°C	°C		1次冷却材高温側温度 C (°C)	°C	°C	°C		1次冷却材圧力(MPa)	MPa	MPa	MPa		加圧器水位(%)	%	%	%	「閉じ込める」	敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)	No1 (nGy/h)	No2 (nGy/h)	No3 (nGy/h)			No4 (nGy/h)	No5 (nGy/h)	No6 (nGy/h)			No7 (nGy/h)				主排気筒ガスモニタ(cpm)	cpm	cpm	cpm		非常用排気筒ガスモニタ(cpm)	cpm	cpm	cpm		放水口モニタ(cps)	cps	cps	cps	運転中プラントを 対象とするパ ラメータ	原子炉停止時刻(日時)	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分		格納容器圧力(kPa)	kPa	kPa	kPa		格納容器雰囲気温度(°C)	°C	°C	°C		蒸気発生器圧力 A (MPa)	MPa	MPa	MPa		蒸気発生器広域水位 A (%)	%	%	%		蒸気発生器圧力 B (MPa)	MPa	MPa	MPa		蒸気発生器広域水位 B (%)	%	%	%		蒸気発生器圧力 C (MPa)	—	—	MPa		蒸気発生器広域水位 C (%)	—	—	%		機器作動状況(時間+ON/OFF等)					例: 蒸気発生器逃し弁 XX月XX日XX時XX分 開 高圧注水 XX月XX日XX時XX分 ON				使用済燃料ピット の状況※	水位(NWL)	cm	cm	cm		水温(°C)	°C	°C	°C		エリアモニタ(mSv/h)	mSv/h	mSv/h	mSv/h	自由記入欄				
サイト名	◆◆原子力発電所																																																																																																																																																																							
号機	1号機	2号機	3号機																																																																																																																																																																					
プラント状態(運転中、停止中、運転終了、廃止措置中)																																																																																																																																																																								
「止める」	出力領域平均中性子束(中間値)	%	%	%																																																																																																																																																																				
	制御棒の位置	通常/全挿入	通常/全挿入	通常/全挿入																																																																																																																																																																				
「冷やす」	A非常用母線電圧(kV)	kV	kV	kV																																																																																																																																																																				
	B非常用母線電圧(kV)	kV	kV	kV																																																																																																																																																																				
	1次冷却材サブクール度(°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	1次冷却材高温側温度 A (°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	1次冷却材高温側温度 B (°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	1次冷却材高温側温度 C (°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	1次冷却材圧力(MPa)	MPa	MPa	MPa																																																																																																																																																																				
	加圧器水位(%)	%	%	%																																																																																																																																																																				
「閉じ込める」	敷地境界モニタリングポスト(nGy/h)	No1 (nGy/h)	No2 (nGy/h)	No3 (nGy/h)																																																																																																																																																																				
		No4 (nGy/h)	No5 (nGy/h)	No6 (nGy/h)																																																																																																																																																																				
		No7 (nGy/h)																																																																																																																																																																						
	主排気筒ガスモニタ(cpm)	cpm	cpm	cpm																																																																																																																																																																				
	非常用排気筒ガスモニタ(cpm)	cpm	cpm	cpm																																																																																																																																																																				
	放水口モニタ(cps)	cps	cps	cps																																																																																																																																																																				
運転中プラントを 対象とするパ ラメータ	原子炉停止時刻(日時)	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分																																																																																																																																																																				
	格納容器圧力(kPa)	kPa	kPa	kPa																																																																																																																																																																				
	格納容器雰囲気温度(°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器圧力 A (MPa)	MPa	MPa	MPa																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器広域水位 A (%)	%	%	%																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器圧力 B (MPa)	MPa	MPa	MPa																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器広域水位 B (%)	%	%	%																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器圧力 C (MPa)	—	—	MPa																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器広域水位 C (%)	—	—	%																																																																																																																																																																				
	機器作動状況(時間+ON/OFF等)																																																																																																																																																																							
	例: 蒸気発生器逃し弁 XX月XX日XX時XX分 開 高圧注水 XX月XX日XX時XX分 ON																																																																																																																																																																							
使用済燃料ピット の状況※	水位(NWL)	cm	cm	cm																																																																																																																																																																				
	水温(°C)	°C	°C	°C																																																																																																																																																																				
	エリアモニタ(mSv/h)	mSv/h	mSv/h	mSv/h																																																																																																																																																																				
自由記入欄																																																																																																																																																																								
<p>※ERSS停止時に伝送しているパラメータを対象とする。</p>																																																																																																																																																																								

・記載の適正化

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
	別添1	

枠囲みの内容は防災に係る情報システムの機微情報を含むため公開はできない。

(赤字+下線部が改訂箇所)

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由

枠囲みの内容は防災に係る情報システムの機微情報を含むため公開はできない。

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由

枠囲みの内容は防災に係る情報システムの機微情報を含むため公開はできない。

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由

枠囲みの内容は防災に係る情報システムの機微情報を含むため公開はできない。

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由
	別添2	

現行（2019年7月 第6次改訂）	修正案	見直し理由

枠囲みの内容は防災に係る情報システムの機微情報を含むため公開はできない。

現行 (2019年7月 第6次改訂)	修正案	見直し理由

枠囲みの内容は防災に係る情報システムの機微情報を含むため公開はできない。